

令和 5 年度国際物流拠点産業集積地域指定管理者制度運用委員会
におけるモニタリングの検証結果について
(令和 4 年度実績分)

1. 施設名：沖縄国際物流拠点産業集積地域うるま地区内賃貸工場及びうるま地区内企業立地サポートセンター
2. 開催日時：令和 5 年 8 月 1 6 日（水）午後 1 時から午後 3 時まで
3. 開催方法：W e b 会議アプリケーション「Z o o m」を使用したW e b 会議
4. 出席者：委員 6 人中 5 人出席
(委員長) 沖縄国際大学 経済学部教授 島袋伊津子
(委員) 大城税理士事務所 所長 大城逸子
(委員) 株式会社ナノシステムソリューションズ 代表取締役社長 稲住仁
(委員) 双日ロイヤルインフライトケイタリング株式会社 沖縄工場長 大島孝之
(委員) M R O J A P A N株式会社 総務部総務課長 宮之原裕治

(事務局) 商工労働部企業立地推進課 課長 高宮城邦子
 商工労働部企業立地推進課 班長 金城寛子
 商工労働部企業立地推進課 主事 金城優作

(指定管理者) 株式会社沖縄ダイケン 指定管理部部長 佐々木公也
 株式会社沖縄ダイケン 営業企画部副部長 知念正和
 株式会社沖縄ダイケン 指定管理部主任 上原圭
 株式会社沖縄ダイケン 企業立地サポートセンターセンター長
 伊波海斗
5. 検証事項：沖縄国際物流拠点産業集積地域うるま地区内賃貸工場及びうるま地区内企業立地サポートセンター（令和 4 年度実績）に係るモニタリングの実施結果
6. 検証内容
 - (1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適正に行われているか。
 - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか。
 - (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか。
7. 検証方法
 - (1) 事務局によるモニタリングの実施結果の報告
 - (2) 委員からの質疑・意見

8. 検証結果

沖縄国際物流拠点産業集積地域うるま地区内賃貸工場及びうるま地区内企業立地サポートセンターに対するモニタリング及び施設所管課の指導・助言は概ね適正に行われているが、利用者アンケートの対応に改善の余地がある。

9. 主な質疑・意見

- | | |
|-------|--|
| (委員) | <p>前年度のモニタリングの際にもアンケートの回収率が低いということ
を指摘しておりまして、前年度の回答ではアンケートに対する督促催促が
足りなかつたので積極的に入居企業への訪問を行い回収率の向上をとっ
ていくということでしたが、今回も回収率が低くなっています。
今年度は改善に向けて具体的にどういった取り組みを考えていますか。</p> |
| (事務局) | <p>今年度からアンケートについては県で直接立地企業の方に向けて実施
していきたいと考えております。
立地企業からの意見として Google フォーム等のインターネットを活用
したアンケートを使用してほしいという声がありましたので、そういった
ものも活用したアンケートを実施していきたいと考えております。
アンケートの実施期間についても前年度よりも回答期間を設けて実施
し、アンケートの回収ができていない企業に対してはこちらからヒアリン
グ等を行って回収の改善に取り組んでまいりたいと考えております。</p> |
| (委員) | <p>モニタリングシート2. 運營業務の入居率等の項目で「空き工場の維持
管理に関する認識不足により、新規立地企業の信頼を失う事案が発生」と
ありますが、具体的にどういった内容だったのか教えてください。</p> |
| (事務局) | <p>賃貸工場に新たに入居する企業様が実際に工場を見学された際に、工場
内の清掃が十分に行われていなかったことが原因で、入居企業様の方から
賃貸工場の維持管理に関してご意見をいただいたということがありまし
た。
空き工場に関する維持管理というところについては、その後サポートセ
ンター職員と認識を合わせて、適切な維持管理を行っていただいております。</p> |
| (委員) | <p>業務仕様書、事業計画書等に指定管理者が行う業務について記載があり
ますが、モニタリングシートには仕様書等に記載のあるすべて業務に対す
る項目が設定されているわけではないので、モニタリングシートとは別に
指定管理者が行うべき業務一覧を可視化していただいて、その業務につい
て適切に実施されていたかどうかを対差確認できるようなわかりやすい
資料があると検証する側としても助かるので検討をお願いします。
業務についてはどういった頻度でどのくらいの期間行う等具体的に示
していただけると助かります。</p> |
| (事務局) | <p>業務仕様書、実績報告書、モニタリングシートの項目をわかりやすく紐
付けする資料の作成については、今後の課題として取り組んでまいりたい
と思います。</p> |

10. 会議の公開状況：公開